

群馬県市町村会館管理組合地球温暖化防止実行計画の実績について

1 計画の目的及び概要

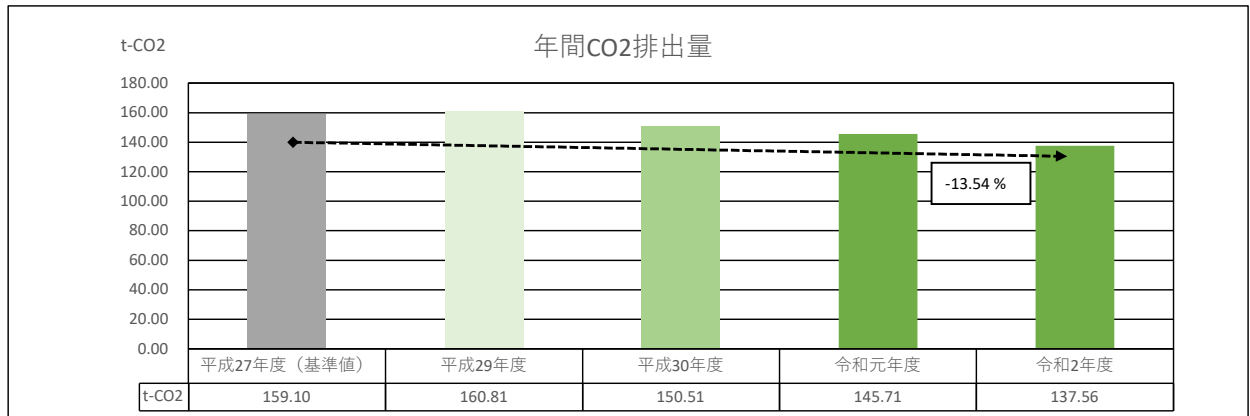
群馬県市町村会館管理組合地球温暖化防止実行計画は、本組合の事務及び事業に関し、温室効果ガス（二酸化炭素）(t-CO₂)排出量の削減に関する計画を策定し、実施することによって、地球温暖化対策の推進を図ることを目的とする。

- (1) 計画期間 平成29年度～令和3年度
- (2) 目標 5年間で毎年1%削減することにより、累積5%削減することを数値目標に定める。
- (3) 基準年度・基準値 平成27年度 排出量159.10(t-CO₂)
- (4) 目標年度・目標値 令和3年度 排出量157.51(t-CO₂)
- (5) 対象とする温室効果ガス 法で規定する7種類の温室効果ガスのうち、二酸化炭素を対象とする。
また、本組合が消費するエネルギーは全て電気使用量による。
- (6) 温室効果ガス（二酸化炭素）の排出量算定方法 電気使用量(kWh)×排出係数(t-CO₂/kWh)

2 温室効果ガス（二酸化炭素）排出量実績

令和2年度の温室効果ガス（二酸化炭素）排出量を算出した結果、137.56(t-CO₂)となり、平成27年度（基準年度）159.10(t-CO₂)と比較し、13.54%減少となった。

【下記年間CO₂排出量グラフ参照】

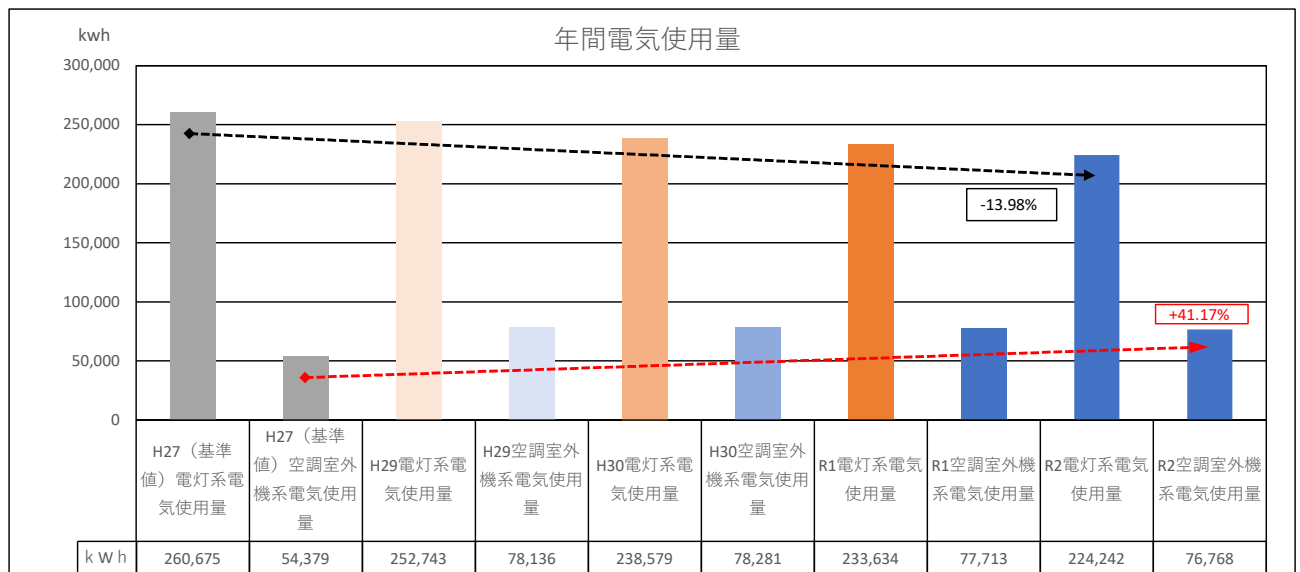


3 エネルギー使用実績

(1) 年間の電気使用量状況

平成27年度（基準年度）と比較して、令和2年度の年間電気使用量については、電灯系電気使用量は13.98%減少となり、空調室外機系電気使用量は41.17%増加となった。

【下記年間電気使用量グラフ参照】

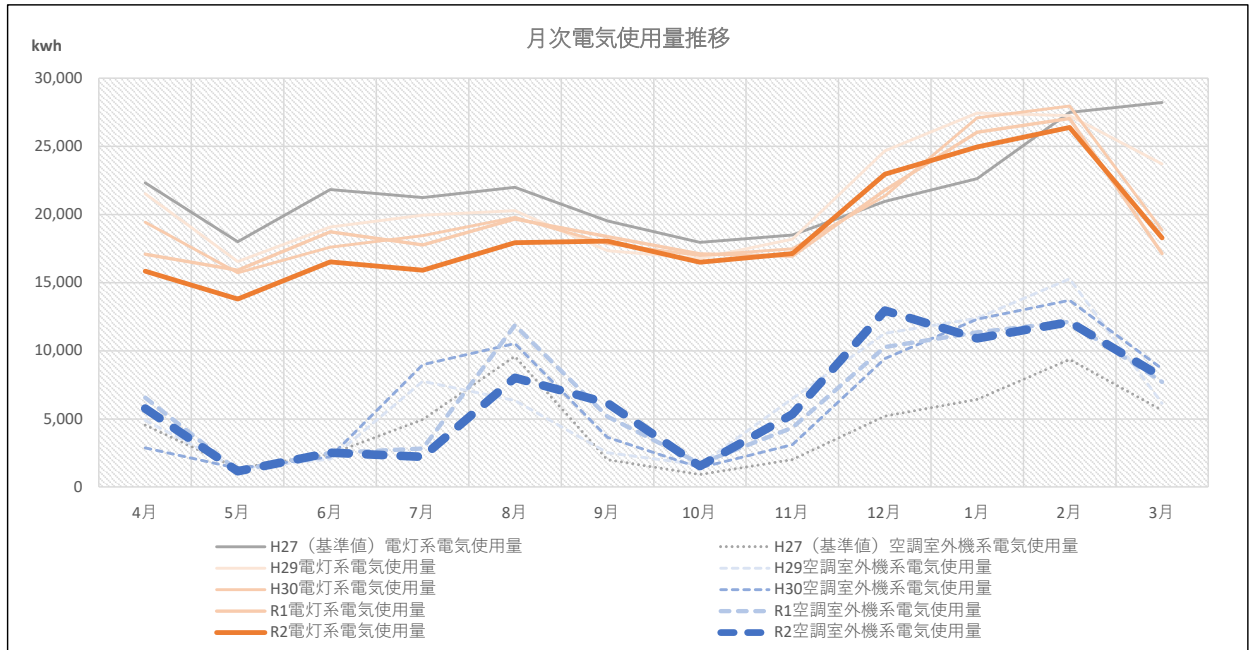


(2) 毎月の電気使用量状況

毎月の電気使用量状況は下記グラフの「月次電気使用量推移」のとおりであった。

平成27年度（基準値）と比較して、令和2年度における電気使用量の増減の特徴について、以下のことが想定できる。

- ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、4月から9月にかけて、会議室の利用率が減り、電灯系電気使用量が全体的に減少した。
- また、空調室外機系電気使用量については、事務室等において換気回数が増えたことにより、空調の運転時間も増え、10月から2月に増加した。



4 今後の取組について

平成2年度は温室効果ガス（二酸化炭素）排出量の削減目標1%を達成することができ、結果13.54%の削減となった。

これにより、4年間での削減実績は累積26.29%となり、目標値である累積4%の削減を達成することができた。

本組合の温室効果ガス（二酸化炭素）排出量は全て電気使用量で占めており、寒暖による気候変動に左右されることとなるが、計画5年目となる令和3年度も削減目標は見直さず、引き続き電気使用量の削減に努めることとする。